

令和8年9月8日の大雨に伴う市長コメント（9月11日発信）

市民の皆様へ

9月8日の豪雨により、市内各所で床上浸水をはじめとする被害が発生しております。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

人命に関わる大きな被害は確認されておりませんが、住まいや家財に被害を受け、先の見えない不安の中で週末を迎えられる皆様のお気持ちを思うと、大変心が痛みます。

現在、名古屋市では、被害状況の確認を進めるとともに、来週以降本格的に開始する罹災証明書等の受付や家屋被害調査の開始に向けて準備を進めております。準備が整い次第、改めてご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。

なお、この週末にはご自宅の片付けや清掃を始められる方も多いかと思えます。片付けを進める前に、浸水した高さが分かる写真や、室内外の損傷状況が分かる写真をできるだけ撮影し、記録として残していただきますようお願いいたします。

こうした記録は、今後の家屋被害調査や罹災証明書等の発行手続きにおいて重要な資料となります。

被災された皆様には大変なご苦勞をおかけしておりますが、名古屋市といたしましては、被災された皆様が生活再建に向けた第一歩を踏み出せるよう、職員一丸となって対応してまいります。

今回の豪雨を受け、改めて、これまでの防災対策についても振り返る必要があると考えております。

名古屋市では、伊勢湾台風や東海豪雨などの経験を踏まえ、河川氾濫や内水氾濫への対策を進めてきました。今回の豪雨においても、こうした取組が被害の軽減につながった面がある一方で、道路冠水や河川の越水による被害が発生したほか、交通機関の運休などにより、多くの方が帰宅困難となりました。

今回の対応をしっかりと検証し、現場で得られた気づきや課題も踏まえながら、今後の防災体制のさらなる強化につなげてまいります。

しばらく不安定な天気が続きますので、引き続き大雨への備えをお願いいたします。くれぐれも安全に配慮して週末をお過ごしください。

令和8年9月11日
名古屋市長 広沢 一郎